

# 第51回全日本シニアボウリング選手権大会

## 開催要項

主催：公益財団法人全日本ボウリング協会

後援：愛知県、愛知県教育委員会、公益財団法人愛知県体育協会、稲沢市  
稲沢市教育委員会、稲沢市体育協会、稲沢市ボウリング協会  
全国ボウリング公認競技場協議会

協力：公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

主管運営：愛知県ボウリング連盟

開催月日：平成30年6月22日（金）～24日（日）（3日間）

会場：稲沢グランドボウル 公競 122-64号 BW116レーン  
〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1 TEL 0587-21-2131

競技種目：〔シニア部門・ハイシニア部門〕

男子・女子別 個人戦・2人チーム戦・選手権者決定戦

〔マスターズシニア部門〕

男子・女子別 個人戦

年齢区分：シニア部門 平成30年4月1日現在、満50歳から満64歳までの者  
ハイシニア部門 平成30年4月1日現在、満65歳から満74歳までの者  
マスターズシニア部門 平成30年4月1日現在、満75歳以上の者

競技方式：デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。

競技方法：1）男女シニア・ハイシニア部門は、個人戦・2人チーム戦ともに、それぞれ6ゲームの競技を行い（3ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点により各種目の順位を決定する。

2）選手権者決定戦は、個人戦、2人チーム戦の2種目（12ゲーム）の個人総得点の上位より男子シニア34名、男子ハイシニア20名、女子シニア18名、女子ハイシニア14名（参加人数により変更する場合がある）を決勝出場者とする。

決勝は更に3ゲームの競技を行い、合計15ゲームの総得点により、各部門の選手権者並びに順位を決定する。

3) 男女マスターズシニア部門は、予選9ゲームの競技を行い(3ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点の上位より、男子14名、女子8名(参加人数により変更する場合がある)を決勝出場者とする。

決勝は更に3ゲームの競技を行い、合計12ゲームの総得点により男子・女子選手権者並びに順位を決定する。

ハンディキャップ：1ゲームにつき、下記のハンディキャップを与える。

部 門	年 齢	H/C	年 齢	H/C
男・女シニア	50～59歳	0点	60～64歳	5点
男・女ハイシニア	65～69歳	0点	70～74歳	5点
男・女マスターズシニア	75～79歳	0点	80～84歳	5点
	85歳以上	10点		

年齢基準は、平成30年4月1日現在の満年齢とする。

競技規程：JBC選手権競技会規程並びにJBCボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定：各種目において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。

ただし、選手権者決定戦及びマスターズ部門決勝において1位と2位が同点の場合は9・10フレームの決定戦により順位を決定する。

参加資格：平成30年度のJBC登録会員(個人正会員、実業団会員)で、各連盟に所属する満50歳以上(平成30年4月1日現在)で、各連盟から選出された代表選手であること。(ただし、個人普通会員は、個人正会員に登録変更すれば参加できる。)

参加割当：各部門は、JBC競技委員会にて別紙のとおり割り当てる。

男女マスターズシニア部門はフリーエントリーとする。

施設使用料：1) 男女シニア、男女ハイシニアの各部門 1名 14,500円

2) 男女マスターズシニア部門 1名 12,800円

- 褒 賞：
- 1) 個人戦(6部門) 優勝～第6位
  - 2) 2人チーム戦(4部門) 優勝～第6位
  - 3) 選手権者決定戦(4部門) 優勝～第6位
  - 4) 加盟団体表彰 各部門優勝者が所属する加盟団体
  - 5) 選手権者決定戦出場賞 選手権者決定戦出場者及びマスターズシニア決勝出場者全員
  - 6) 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞(各部門 男・女別 スクラッチ)  
注) ただし、選手権者決定戦並びに決勝戦は対象としない。
  - 7) 最高年齢者特別表彰 男・女 各1名
  - 8) 参加賞 参加者全員に贈る。

申込締切：平成30年5月21日(月)期限厳守のこと

申込方法：別紙所定の申込用紙に必要事項を記入し、各連盟が取りまとめて施設使用料を添え、期日までに下記へ申し込むこと。

愛知県ボウリング連盟 〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通4 - 2 1

TEL 0 5 2 ( 4 3 3 ) 9 9 1 0 FAX 0 5 2 ( 4 3 3 ) 9 9 1 1

送金先：別紙送金明細書参照のこと。送金締切日は平成30年5月24日(木)厳守のこと。

### 注意事項

- 1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害等により大会を中止した場合、旅費、宿泊費の補償はしない。
- 2) 参加選手は各自の責任で健康診断を受け、健康であることを証明された者が参加すること。また、「スポーツ安全保険」等に加入し、健康保険証を必ず持参すること。
- 3) 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。
- 4) 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。また、ボールの追加登録は原則として認めない。登録には、2個目から1個500円の登録料を納入するものとする。5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。
- 5) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- 6) 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円(硬度検査のみ200円)とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- 7) 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
- 8) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること
- 9) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。